

●植物部会 オオバクサフジの調査管理地確認 5月24日(月) 9人

24日の調査活動は9時に集合して現地調査を行い、午後に予定の調査を3か所を行いました。2024年度の木津川希少種生育調査管理業務の内、生育調査の3月にはユキワリイチゲの確認ができました。5月の調査では木津川上流部の木津川市加茂町を中心にした生育地を11か所を調査確認しました。この日は毎年お世話役を担っている伊藤さん、調査活動の大ベテラン白木さん、この活動を陰で支えてきた近藤さん達9人が参加いただきました。京田辺市から加茂町まで車で片道40分の道のりですのでなかなか大変です。調査活動に参加してくださる皆さんへの通知の徹底や予定などの起案等、毎月の実施、季節によって開花時期が変わりますのでその都度の変更など、継続してゆくことは非常に大変です。そしてその結果をまとめて報告書に仕上げるまで、皆さんのご苦労本当に有難うございます。

その後、15時から事務所で植物部会を開催(参加者:伊藤、近藤、白木、山村)しました。そこで今日の報告を行い、約30分程植物部会の結成に向けての話し合いを実行しました。予定されていた業務の内容の説明と契約内容の説明の後、第30回総会で確認された会の活動運営は得手を生かしてサークル化の方向へ進もうということで、すべてのイベントへの参加するスタッフの過重負担の軽減を図ろうという取り組みです。それぞれ異存はない様子でした。しかし一度に切り替えられるものではないので徐々に改善いくことで折り合いがついたようです。

●琵琶湖・淀川流域圏連携交流会総会 滋賀県大津市 ウォーターステーション琵琶 5月26日(日)

26日の日曜日13:00から大津市にあるウォーターステーション琵琶の会議室で総会が開かれました。活動報告では座談会:6回 43名。リレー見学会:3回 49名。情報交流コーナー:11回の開催。そして連携・共同事業:4回 85名。シンポジウム:3回 180名。さくら出会い館と連携事業:3回 49名。その他:3回 280名。幹事会11回の報告がされました。そして支出経費は277,000円だったそうです。(総動員人数676名)事業推進のための幹事会は11回行っています。この組織は滋賀県、京都府、大阪府にまたがる幹事の奮闘によって実行しています。少ない予算ですごい活動だと思います。又2024年度の活動提案の中で7月21日に予定されているさくら出会い館での「夏休み課題解決コーナー…水辺の生き物探検隊」は数年継続して開催されてきた程度の30人の規模の取組みでしたが、今年は京阪電車や八幡市・舟運会社・KBS等の企業が名乗り出てきて同日同場所でのイベントを開催することになってきているとの報告がありました。細々と実行してきましたが実績が評価されて民間団体が取り組みに協力して大いに盛り上げることに発展してきました。この報告にも大変驚かされました。

続いて行われた講演会でマザーレイクフォーラムの中心になって取り組んでこられた佐藤さんからお話がありました。マザーフォーラムを10回(1回:200人程度の参加者)10年を取組み、その後の発展したマザーレイクゴールズが取組みが報告されました。そこで学んだことは行政の位置づけで最初は中心に座って運動推進を担ってきたが、今では行政も参加者の一員としての位置づけになって、ともに運動や課題に挑む位置づけになっているとの事に感銘を受けました。またSDGsが叫ばれる前に7つの目標を掲げ、それが今では13の項目になって取り組まれていること。そして琵琶湖周航の歌を伴奏にした琵琶湖体操が市民の間で楽しみながら実行されて来ていると紹介されました。13項目にまとめられたものを紹介していきます。

①清らかを感じる水に ②豊かな魚介類を取り戻そう ③多様な生き物を守ろう ④水辺も湖底も美しく ⑤恵み豊かな水源の森を守ろう ⑥森川里湖のつながりを健全に ⑦びわ湖のためにも 温室効果ガスの排出を減らそう ⑧気候変動や自然災害に強い暮らしに ⑨生業・産業に地域の資源を活かそう ⑩地元も流域も学びの場に ⑪びわ湖を楽しみ 愛する人を増やそう ⑫水とつながる祈りと暮らしを次世代に ⑬つながりあって目標を達成しよう です。

●里山農園部会の結成に向けての取組みが5月28日開かれました。

話し合った内容はA里山農園の特徴、B里山農園の成果、C里山農園の課題、D里山農園の果たしてきた役割、E活動で協力を得てきた団体、F活動で協力を得てきた個人、G会議で出された意見は次の通りです。

- 1.交響プロジェクト交付金・フィランソロピー助成金が有効に働いてきた
- 2.ものづくりの出来る人を求めてゆきたい
- 3.監視カメラでアライグマが撮影されている 対策が必要 池の地主は誰か
- 4.保護には木道など不必要 カスミ池の地主は誰か 調査実施
- 5.農園借用に対する謝礼はどうなっている 用地地主との使用契約は
- 6.野菜栽培は体力の限界に達している 果実林へ変更したい
- 7.子供の遊び場には最適である
- 8.ミカン・クリ・ブドウ・カキを植えて実がなり始めている
- 9.草刈りなどの維持作業に人手が足りない 過重負担である
- 10.栽培野菜の販売残りの処分をどのようにしているか
- 11.昆虫と野菜販売などのコラボなどの工夫が必要ではないか



アライグマの生態

- ・何でも食べる雑食
- ・指を使って物を動かしたり木を登ったりできる
- ・夜行性だが、日中も活動する
- ・巣を作らず屋根裏やほかの動物の巣などに住み着く
- ・春と秋に繁殖する
- ・上下移動や水中移動など、行動範囲が広い
- ・発情期や突然の遭遇、捕獲などにより凶暴化する

アライグマの特徴

- 体の色** …鼻筋と目の周りが黒い・毛が長く、背中には銀色や淡い茶色の毛が混在。
- 体の大きさ** …胴体は40～60cm程度・体重約3.5～10kg。
- 尻尾** …20～40cm程度・5～7本ほどの縞模様がある。

現在、日本ではアライグマを外来生物法によって「特定外来生物」に指定している

植物観察会のご案内

久しぶりに里山の会としての甘南備山観察会を行います。今回も昨年10月に引き続き本会顧問であり、理事長代行を務めていただいている光田先生に講師をお願いし、今の時期にしか見られないムカゴサイシン（超珍種、京都府絶滅寸前種）やマメスゲ、コシンジュガヤ（京都府絶滅危惧種）などを中心にして、初夏の自然を楽しみます。甘南備山の見どころはたくさんあります。ラクウショウもみられます。お天気が良ければ、展望台から京都タワーも望めます。皆様万障繰り合わせの上、ぜひご参加ください。

日時 2024年 **6月9日(日)** 10時集合 午後2時半ごろまで 集合場所 甘南備山駐車場

ナビで「甘南備山駐車場」で検索してください。狭い農道を通りますので、ご注意ください。

近鉄新田辺駅からは徒歩50分かかります。

新田辺駅から京阪バス④のりば 9時03分 穂谷行 茂ヶ谷下車 徒歩30分（薪小学校方面に進みます）

(事前に連絡いただければ新田辺駅への迎えも可能?)



- 申し込み 里山の会ホームページよりメールでお願いします。当日参加も可能
- 持物 弁当、水筒、筆記具、カメラなど
- 服装 帽子、長袖の上着、長ズボン、しっかりした靴(山道です)

主催 特定非営利活動法人 やましろ里山の会 事務所 京田辺市田辺深田15
電話:0774-64-4183 メール fddb257@yahoo.co.jp 植物担当 伊藤